



し	か	し	ふ	と	本	当	に	洗	脳	さ	れ	て	い	た	の	は	戦	争	
生	ま	れ	て	こ	れ	て	本	当	に	良	か	た	と	思	た				
い	る	こ	の	小	説	を	読	み	終	わ	て	今	の	時	代	に			
し	、	自	由	に	発	言	や	行	動	を	す	る	こ	と	か	許	さ	れ	て
し	た	今	の	私	達	の	時	代	は	皆	が	個	人	と	し	て	在	存	
け	た	宮	部	は	本	当	に	強	い	ん	だ	な	と	ひ	び	く	感	心	
集	団	意	識	が	強	い	中	、	自	分	の	意	志	を	貫	き	通	し	続
だ	し	と	死	を	恐	れ	な	く	な	る	ま	で	訓	練	す	る	こ	の	
で	罰	を	与	え	、	一	国	の	た	め	に	死	ね	る	の	な	ら	本	望
レ	や	、	家	族	に	会	い	た	い	し	と	言	う	も	の	に	は	暴	力
戦	争	は	一	種	の	洗	脳	だ	と	思	う	。一	死	に	た	く	な	い	
か	、	こ	れ	ほ	び	悲	惨	な	も	の	だ	と	初	め	て	知	ら	な	
	戦	争	は	恐	ろ	し	い	も	の	だ	と	た	と	は	聞	い	て	い	た
分	の	意	志	で	国	の	た	め	に	死	ん	で	い	、	た	の	だ	。	
い	と	言	う	ま	で	段	ら	れ	た	。	そ	し	て	軍	人	は	皆	、	自
で	あ	る	。	行	き	た	く	な	い	、	と	言	、	た	者	は	行	き	た
自	ら	敵	に	突	、	込	ん	で	共	に	自	爆	す	る	決	死	的	作	戦
ま	れ	、	特	別	攻	撃	隊	を	作	、	た	。	特	別	攻	撃	隊	と	は
主	張	し	続	け	た	。	や	か	て	日	本	は	ま	す	ま	す	追	い	込
め	し	と	笑	わ	れ	た	。	そ	れ	で	も	彼	は	自	分	の	意	志	を

カンタベリト日本語補習校

伝	た	の	い	に	今	若	意	に	け		た	よ	て	で	る	い	自	教	思	の
え	宮	意	う	っ	思	者	識	そ	や		り	う	、	は	可	。	分	え	い	時
た	部	見	メ	オ	え	に	で	の	やす		前	な	同	ほ	能	。	か	ら	浮	代
い	の	に	々	ン	は	自	は	考	す		な	の	じ	ぼ	性	洗	れ	かん	だ	代
こ	よ	合	セ	リ	こ	分	な	え	く		の	た	時	全	は	脳	だ	。	。	だけ
と	う	わ	ー	ー	の	の	い	を	、		だ	。	間	て	あ	さ	。	。	。	だけ
だ	に	せ	ジ	フ	場	家	の	取	そ		人	に	電	の	る	れ	。	。	。	。
と	生	た	だ	ン	面	族	か	り	れ		は	車	に	で	の	て	。	。	。	。
私	き	り	。	な	は	の	洗	入	か		集	に	乗	は	男	い	。	。	。	。
は	て	、	た	生	作	未	脳	れ	洗		団	り	会	な	性	る	。	。	。	。
受	ほ	惑	の	き	者	来	だ	て	脳		の	社	な	い	か	私	。	。	。	。
け	し	わ	か	方	か	を	と	しま	。		価	に	ス	の	か	達	。	。	。	。
取	い	さ	も	。	時	方	気	う	。		値	行	。	か	も	。	。	。	。	。
。	。	れ	し	水	代	。	。	。	。		観	き	。	。	洗	。	。	。	。	。
	これ	たり	い	な	を	。	。	。	。		に	は	。	。	。	。	。	。	。	。
	が	し	。	。	超	。	。	。	。		影	こ	。	。	。	。	。	。	。	。
	作	な	。	。	え	。	。	。	。		響	れ	。	。	。	。	。	。	。	。
	者	か	。	。	て	。	。	。	。		を	は	。	。	。	。	。	。	。	。
	の	。	。	。	読	。	。	。	。		受	当	。	。	。	。	。	。	。	。
			周	。	者	。	。	。	。				。	。	。	。	。	。	。	。
			り	。		。	。	。	。				。	。	。	。	。	。	。	。

カンタベリト日本語補習校

きたいと思おう。

カンタベリト日本語補習校

私には自分が本当に生きていきたい生き方をしたい。  
 国のために死ぬことが幸せ、一生働き攻めて  
 過労死や孤独死するところが幸せ、なんと思  
 いたくないし、周りにも思、てほしくな、自  
 由な生き方を、して、本当に幸せだと感じ、るこ  
 とも見つけて満足する生き方をしたい。この  
 ことに気がつかせてくれた、一永遠のゼロ。こ  
 の話はそのれぞれの価値観を持つための現代と  
 未来をつなぐ、バトンだ、たのかもしれない。  
 これからは自分の意志を固める努力をして生